『嘘と幻の手順』

登場人物

Ａ　この場所に連れてこられた人間。
１　政府機関のサーバに関係するセクションのエンジニア。
４１　Ａをこの場所に連れてきた。
４２　Ａをこの場所に連れてきた。
４３　Ａをこの場所に連れてきた。
４４　Ａをこの場所に連れてきた。

開場。

舞台は客入れの間、ずっとさらしものになっていなければならない。

この演劇の時間は観客に対して、ありえない現実を立ち上げる試みとして、これから展開する物語についての残滓がある限り、抜け出しようのない観劇体験になることを意図して計画される。

観客は、観劇のさなかに、見ていること自体が自分のどこかにこびりついて、いつまでも残るのではないかという不安を覚える。

この戯曲の上演は、それを意図して計画されなければならない。

その空間には机が二つある。
ひとつの机の周辺には複数の椅子。
そこから少し離れた場所にあるもうひとつの机の脇に、背もたれのない椅子がひとつある。
この場所で何らかの取り調べが行われ、離れた場所にある小さな机は、その記録を取るために誰かが座る。そんな配置。

最初に登場する登場人物のひとりは、登場してすぐに自分が向かうべき椅子に向かって行くか、この舞台上のどこかの地点でしばらく立って周りの様子を見て、自分が座るべき場所を決めるかもしれない。その場所は必ず、離れた机の場所ではない。
この点、位置の選択には、特に注意しておくこと。
この後、順次登場する登場人物たちは、他の人物たちの様子を見て自分が座るタイミングや位置を決める。
場合によっては座りあぐね、何らかの理由で座ることを諦めてずっと立ちっぱなしで、既に登場している人物たちと会話を続ける者も居るかもしれない。
これは、状況によって流動的に扱うこと。

戯曲の中で、登場人物がなんらかの場所に落ち着くという明確な指示は行わない。

つまり、座る座らないも含めてこれ以降、明確に登場、退場に関わる場合の他は一切、位置や移動、立ち座りについては触れない。

まず、Aが登場する。

このAは少なくとも、ここに連れてこられて、この部屋にいるように言われている。あるいは、言われていた。

ずっと一人だったのか、それとも誰かに案内されるかして、一緒にここに来て、現在は一人残されている。

ただAが一人ここにいて、とにかくここで時間を過ごしている。

別の人間が登場する。

この登場人物は、もうここにいなくてもいいとAに告げる。

どちらが先だろうか。Aの方から登場してきた人物に、その人物の顔を見るや否や、もうここにもうこれ以上ここにいなくてもいいかと問うかもしれない。

あるいは、登場した人物が、開口一番Aに、もうここにいなくてもいいと告げるかもしれない。

Aが先に口を開くなら「まだ、なにか？」

登場した人物は、おそらくこんな意味のことを言う「ありがとうございます。もう、お帰りになっていただいて構わない」

ここにいるかどうかをについての会話が始まる。

最初からいるAはもうこれ以上ここにいる必要がないのなら帰りたい。

新たに登場した人物は、確かにAに対して用事は終わっているものの、まだ確認したいことがあるので、もうしばらくここにいてくれないかと告げる。

なにが聞きたいのか、どんなことが確認したいのかとAは質問するが、即座には明確な返答は戻らない。

なにはともあれ、もうしばらくお待ちくださいと、登場した人物は、Aに告げるだろう。

沈黙があるかもしれない。

少なくとも新たな登場人物は、今、Aをここから出してしまうと、Aの身に危険が及ぶことを懸念していると、遠回しに伝えようとする。

会話が続いていく中で、どこかの時点でAがそれに気づき、誰かにそれとなく問う。

「ひょっとして、私がここから出ると危険ということですか」

言葉としては、そんな風になるだろう。

Aがこう問うた時点でこの場所に登場している人物は「ただのほのめかし」であるという姿勢を崩さない。Aは、その「ほのめかし」自体が脅しになっていると伝える。

登場人物たちは、脅しと言われると態度にゆらぎが生じるが、それは抗弁や弁解のようではなく、ただ自分たちが起こしてしまったこの状況に対しての申し訳なさを示す。

・は、A以外の誰の言葉でも構わない。
2から4は、文脈によっては1のセリフを言っても構わない。
作中、エミリー・ディキンソン「希望は羽をまとった姿で」の一節を利用している。

A　（咳払い）……。
A・　おはようございます。
A・　朝だ。
A・　朝。
A　おはようございます。

間。

A・A・A　朝？
A・A・A　朝。
A・A・A　朝になった。
A・A・A　はい。
A・A・A　いつ、
A・A・A　いつ？
A・A・A　いつ朝になったんだ。
A・A・A　朝に、
A・A・A　朝が、
A・A・A　おはよう。
A・A・A　これは、
A・A・A　どんな風に時間が過ぎていくのか、
A・A・A　いや、これは、
A・A・A　これ？
A・A・A　これは、
A・A・A　ただ時間が過ぎていく、
A・A・A　時間だけが、
A・A・A　これはただ、
A・A・A　そんなことが本当にあるのか。
A・A・A　朝になってしまったのは、
A・A・A　確かにこれは、
A・A・A　朝だよ。
A・A・A　はい。
A・A・A　これはただ、
A・A・A　本当に？

間。

Ａ　おはよう。ただ、どうだろう。本当に朝になったのかを、知ることは、（無い。）
Ａ・Ａ　知る？　誰の朝か。
Ａ・・Ａ　ああ、申し訳ありません。朝、本当に朝が来たのか、朝になってしまって、これは実際のところ、いいですよ。あんな時間に拘束されたんんだ、いえ、
Ａ・Ａ　拘束ですよね。それは……。
Ａ・・Ａ　拘束ですらないと、拘束では、同行して（いただき、）同行！そうですね。きっとそうだ。

新たに一人、入ってくる。
この人物を「４」としておく。

Ａ　おはようございます。
４Ａ　だいたい把握できました。だいたい。
Ａ４Ａ　いえ、嘘です。あらましししか……。問題？
Ａ・Ａ４　どうでしょう。どうにもできない。
４Ａ・４　そうかな。どうにかなる？
Ａ・４Ａ　わからない。
４　うん。

登場人物たちは、Ａとの会話の進め方を決めかねる。
Ａは、これ以上の会話を必要としていない。

Ａ・Ａ　帰ります。
Ａ４Ａ　それは。問題でも？
４Ａ・Ａ４　ここで、拘束される理由が？
Ａ・Ａ４　拘束はしてない。なら、
Ａ４Ａ・Ａ　ここでは。
Ａ４　ここ。

４　ここに居れば、よそで拘束される可能性が消える。
Ａ・Ａ　よそ？
あなたを拘束して、どこかに連れ去る、
そんなことが、
Ａ・Ａ・Ａ　可能性。
拘束の。
可能性。
Ａ・Ａ４　同行では？
いいえ。
ほう。
Ａ４Ａ・Ａ　拘束です。
ある？
それは、
Ａ４Ａ４　本当に？
誰かがたどり着いていたら、
私に？
Ａ・Ａ４　私はたどり着いた。
あなたが私にたどり着いたとして、他の誰かも私にたどりつくだろうか。
たどり着いた。
４Ａ・　どの程度の確信があって？
そんなもの。

間。

Ａ・Ａ・Ａ　ああ。
安全にはなんの関係もない。
私の。
Ａ・Ａ４Ａ　そう。
脅迫？
そんな状態になる瞬間がある。
Ａ４Ａ４Ａ　安全ね。
私からは、
Ａ４Ａ４　考えている以上に、本当に野蛮だと。
野蛮。確かにそう言うなら。
Ａ４　そう。

間。

Ａ・Ａ・Ａ　じゃぁ、安全なんかどこにもない。
そうかもしれない。
Ａ・Ａ　帰ります。
行かないで。
Ａ・　行っても行かなくても、状況は同じ。
変わるかもしれない。

Ａ　どうして。
Ａ・Ａ　安全。
　安全。安全ね。……あるの？
　それは、
Ａ・Ａ　あなたが考えている様なことが簡単に起こるなら、そもそも安全なんて。
Ａ・Ａ　それは……。
Ａ　最初からそう。そうですよね。

　Ａ、行きかけるが、

Ａ４　待って。
Ａ・Ａ　理由がない。
　知りたい。
　誰が？
Ａ・Ａ　私が。
　教える……。うん。教える意味がない。
Ａ４　教える必要もない。
　そう。
Ａ・Ａ　知りたい。
　あなたが知ったからって、
　確かに
　そう。
Ａ・・Ａ　うん。

　１が登場する。

Ａ１　お帰りですか？
１Ａ１　帰ります。
　そうですか。

　１一瞬言葉を選ぶ。

Ａ１　まだしばらくここに居てもらいます。
　理由がない。

　間。

Ａ　ただ、拘束されて、そのまま朝になった。
１Ａ１　そんな一日の、
　そんな一日が、実際にある世の中だ。
Ａ１　いつから、
　いつから？
Ａ・Ａ１　こうなったのは、
　これは……。まるで、これが稀にある手違いの様な聞こえ方だ。

空気に、それなりの緊張感。

Ａ１　別に、そうではなかったはず。
どうでしょう。
Ａ・Ａ１　外に出てみたら、いや、外に出るまでもない。
これは、
Ａ・Ａ１　もう明るい。本当にもう明るい？
今、
Ａ１・Ａ　今、現に今。
ああ、明るい。それは、朝だからか。
・Ａ１　それは、

いつの間にか退場していた誰かが、再び登場する。
幾つかのマグカップ、コーヒーとサンドイッチを運んでくる。

Ａ・Ａ１Ａ・Ａ１Ａ　簡単なものしかありませんが。
朝になった。
Ａ１・Ａ１Ａ・Ａ１Ａ　いかがですか。
朝か。
Ａ１・Ａ１Ａ・Ａ１Ａ　どうぞ。
まだしばらく、
Ａ１・Ａ１Ａ・Ａ１Ａ　ここに、
はい。
Ａ１・Ａ１Ａ・Ａ１Ａ　どうして、
知りたい。
Ａ１・Ａ１Ａ・Ａ１Ａ　皆さん、多分そうなんでしょう。
そうかも。
Ａ１・Ａ１Ａ・Ａ１Ａ　そうですね。
随分、時間無駄にして、
Ａ１・Ａ１Ａ・Ａ１Ａ　把握を。
なんの。
Ａ１・Ａ１Ａ・Ａ１Ａ　はい。
朝。朝食。
Ａ１・Ａ１Ａ・Ａ１Ａ　はい。
朝。
Ａ１・Ａ１Ａ・Ａ１Ａ　今日は、どんな日になるんでしょう。
教えてほしい。
Ａ１・Ａ１Ａ・Ａ１Ａ　それは、

間。

Ａ１　はい。
誰にとって。

間。

Ａ　コーヒーと、
１・　コーヒー。
Ａ・　コーヒーと、
１・　サンドイッチ。
Ａ・　サンドイッチ。なんの？
１　玉子。
Ａ・　なるほど。コーヒーを。
Ａ　お待ちください。
死刑囚の最後の食事を豪勢なものにするのは、化けて出ない様にと、
死刑にする側のゲン担ぎだとか。
３　死刑。そんな。
Ａ１　サンドイッチでは、
１　サンドイッチ。
Ａ・　コーヒー。
１　（渡す）どうぞ。
Ａ・　むしろ、ゲームを中断しないまま食事できる様に？
Ａ１　そんな。
誰もがそれは眉唾だと知っている名前の起源に例えたとして、
Ａ３　なにが出てこようと、たいした意味は、
連想は無意味？
Ａ３　そこに、
Ａ１　そこになにを見るか。
３　細かな記号でも、大きな運命でも、
Ａ３　記号も運命もない。
ない。それをなんの含みも無く言い切れるなら、やはりここから出
ていくのも問題はないはず。
１　それは、
Ａ　ゲームは始まっていて、もうどうすることもできない。
・　そう見るなら、
・　ゲーム。
Ａ・　なにをゲームの盤面とみなすか。
１・　それは、
Ａ１　連想は無意味。
無意味？

間。

Ａ　あらゆる権利が合理的に奪われ尽くして、小指の爪を切るだけでも
国家に監視される世の中。こうして、真夜中に警察でもない連中に静か
に同行を願われて、
１　はい。
Ａ　確認するまでもない。今、
・　今。

Ａ１　今の状態は、
Ａ３１　そうなっている。
Ａ１　確かに。
Ａ１　うん。
Ａ１　そして今、大変申し訳無い。我々が同行を願ったことで、
生きているだけでも、運が良いのだと、
Ａ１　いえ、
今。そう思っています。

間。

Ａ１・１　殺されずに朝にはなったけれど、帰れそうにない。
Ａ１　せめて朝食を、
Ａ１・１　コーヒーを。
Ａ１　面白い。
Ａ１　まぁ、コーヒーだけでも。
Ａ１・Ａ１　いただいている。
Ａ１　うん。
Ａ１・Ａ１　記号。
Ａ１　記号。
Ａ１　幽霊を信じない様な連中なら、
Ａ１　これも。
Ａ１　そう。
Ａ１　そうか。
Ａ１　最後になにを食べていようが、全く気にもされない。
Ａ１　今、そうなっていると。
Ａ１　その責任が、
Ａ１　その責任。

この責任があるという認識は、１と他全員の、Ａに対する態度として見て取れる。
Ａからは、いわゆる犯人的な「そこにとどまりたさ」「対決の欲求」が読み取れるだろうか。
Ａがもし挑戦的に見える場合、どの様に挑戦的に見えるのか、考慮の必要がある。

Ａ　逮捕権を持っている数え切れない組織のどこに目を付けられたのかは知らないけれど、
・・　掴みきれない。
Ａ・　実際、
Ａ１　それは、
Ａ１　保護を、
Ａ１　保護。
Ａ４　いちはやく、
Ａ　当てずっぽう。

Ａ１Ａ・・　いや、
それでも。
でも、確信はもう殺したも同じ。
私達は、
実際、殺したも同じと思っている。

間。

Ａ４Ａ　どうやって違うと思う努力をするのか知らないけれど、
違います。
幽霊も信じる。
そうかもしれない。
Ａ１Ａ１Ａ　そんなにいい豆じゃない。
幽霊は信じる。
へぇ。
Ａ１Ａ１Ａ　死刑の朝にはしない。
そう考えている。そのアピールに感謝を？
Ａ１Ａ１Ａ　いや、感謝もなにも、
皮肉です。
Ａ１Ａ・Ａ１Ａ　ああ、
確かに、全く届かなかったわけでもないなら、
時間の問題だったのではと、
時間の、
確認はしていません。
Ａ１Ａ・Ａ１Ａ　ああ。
それでも。
政府機関のサーバに攻撃を仕掛けている。

間。

Ａ１Ａ１Ａ　それは間違いないはず。
なるほど。
Ａ１Ａ３Ａ　はい。
どうだろう。
可能性は高い。
Ａ１Ａ　可能性。
限りなく。
限りなく。

間。

Ａ・Ａ１　なにかがおかしい。
その程度ですよね。
今はもう、その程度が、
ああ、疑わしいことは罪。

それは、
そうでした。
攻撃は、
攻撃。なにをそんな風に、
悪意のある、
加工を施されたパケットが、発見されました。
加工に、ある悪意が、
悪意。
はい。
その加工をしたと。
しましたか？
さて、
なにを、
なにを目論んでの加工ですか。
目論む。
そう。
少なくとも、サーバダウン。
ダウン。
おそらく。
それだけ？
規模が違う。
規模。はい。
ダウンする可能性があるのは、政府機関が関連するほぼ全ての、
考えられない、
はい。
規模が、
ああ。
ありえますか。そんな攻撃が、
おそらく。
おそらく。おそらくで？

間。

おそらくの可能性でここに居るんでした。
はい。
おそらくの可能性で、ここから出られない。
確かに。
で、そのサーバの攻撃を実行しているのは、私だと思われている。
そうです。
まだ、サーバダウンはしていない。
そうですね。
あらゆることが可能性のまま、まだ始まってもいないのに、もう今の段階で、いつ終わりがくるのか、これからなにがどうなるのかもわからないなんて。
いや、

Ａ　ああ、そうだ。ここから出ると危険。

間。

Ａ　それは、はっきりしている。

１　はい。

Ａ　この先、なにを切り出そうが、現実は同じ。

１　あるいは。

Ａ　あるいは？

Ａの問いに対して、何かを応えられる人間は居ない。

Ａは、彼らに対して、どの様な態度を取るだろうか。

はっきりしているのは、その態度が、まだ犯罪が露見していない犯罪者のものではないこと。

Ａの問いに応えられない理由は、後ろめたさを伴って言葉を探す様なものではなく、正確さを保つ言葉を持たないためのどうにもならない沈黙の様に見える。

Ａ　ここからは出られない理由は聞いたけれど、どうすれば出た後も無事で居られるかは聞いていない。

１　はい。

・・・　方法があるとすれば、

Ａ１・・・　協力を。

協力してください。

Ａ１・・・　具体的にには。

・　はい。

Ａ　なにが協力になるんですか？そもそも、同行を求めたこと自体が間違いで、あなたがたが今以上になにも得られなかったら、それで話しは終わり。ここから出られない状態に、変化はない。

３　多少時間はかかっても、

Ａ　誰が信じるんですか。信じるのは、どうだろう。信じる信じないは、人間の話し。

４　人間、

Ａ　組織には関係ない。だから、ここからどう転ぼうがなにも変わらない。

１　話しましょう。

Ａ１　なにを。

なにから。

Ａ１　なにから。

１　そうですね。

間。

Ａ　いとぐちがない。

１　話しのいとぐち。
Ａ・１　インターネットへの接続が大きく制限されて、そうですね。許可は持っています。
Ａ４　確かに。仕事ですから。
Ａ１Ａ４　はい。記録はある。
Ａ４Ａ１　確認しました。
Ａ４Ａ１　確認。
Ａ４Ａ１　はい。確認して、こうなっている。
Ａ１Ａ４　そうです。不正な接続の記録でもありましたか。
Ａ１Ａ４　いえ。ない。
Ａ４Ａ１　ありません。実際は。どうでしょう。もう、逮捕や拘束にも、根拠なんて必要なくなっているのでは？
Ａ１　まさか。正式な機関ではないですよね。ここは、ここは？

間。

Ａ　どこなのかも伏せておく様な場所。

間。

Ａ　ただ、インターネットに接続する仕事というだけで、政府機関のサーバへの攻撃を疑われている。
Ａ４　同行をお願いする理由はあります。なんでしょう。

間。

Ａ４　足取り。
Ａ４　足取り？
Ａ４　調査を、
Ａ１Ａ４　はい。
Ａ１Ａ４　調査をしていました。
Ａ１　はい。で、その結果、サーバを攻撃していると、
・・・　疑いが、
攻撃について、
重要な手がかりを持っている、

１Ａ　攻撃について。なぜ。
それは。

間。

Ａ１Ａ　沈黙。始まりも終わりもない。
状況が、
Ａ・Ａ１Ａ　状況ですか。
幾つも発見された攻撃の起点になっているサーバーで、
Ａ３Ａ・Ａ　サーバーが。幾つも。
通常のコマンドの中にワームを発見しました。
Ａ１Ａ３Ａ　そんな莫迦な。ありえない。
ありえない。
Ａ・Ａ１Ａ３Ａ　そんな改竄があれば、差分は即座に、
検知。
Ａ３Ａ・Ａ１Ａ　そう。
改竄は検知されなかった。
Ａ４３Ａ・Ａ１Ａ　トリガーは、
トリガー？
Ａ１Ａ４３Ａ・Ａ１Ａ　準備は何段階かに分けて、慎重に実行されたと見ています。
一度の侵入ではなく、
・・１Ａ４３Ａ・Ａ１Ａ　どこが起点だったのかも、とにかく隠蔽していく。
３・・１Ａ４３Ａ・Ａ１Ａ　ＯＳの改竄を検知するためのプログラムが、セッティングの時点で
操作されていました。
Ａ１Ａ３・・１Ａ４３Ａ・Ａ１Ａ　なら、セッティングの担当者を、
Ａ１Ａ　空振りです。
手回しがいい。

間。

Ａ１Ａ　サーバのセッティングには、関わっていない。
Ａ４１Ａ　確かに。
確認済みです。
Ａ４１Ａ　……。
３Ａ４１Ａ　汚染されたサーバの運用が始まって、改竄を検知する機能自体も、
徐々に汚染されていきました。
４Ａ　データが同期される際に、改竄検知自体も、
Ａ・Ａ　トリガー。
はい。
Ａ３Ａ・Ａ　さっき、
汚染のきっかけ自体が、非常につかみにくく、
Ａ３Ａ　そんな都合がいいことが？
汚染。
Ａ１３Ａ３Ａ　それ自体、ゆっくりと、
（反応する音のみ）……。

３　並行して運用されているサーバから、行政系で使われている擬似的なクラウドにたどりつくまで、汚染が広がっていく足取り自体、追うことも困難で、

４　そもそも、いつから進められていた計画なのか。

Ａ１　それもわからない。

Ａ１　おぼろげには、なにが、

Ａ１　はい。

Ａ１　おぼろげ。

Ａ１　そうですね。

Ａ１　おぼろげ？なにが。

Ａ１　ああ。

Ａ４　なにも見えない。

Ａ４　いや、見えていない。

Ａ４　全く見えないということでは、

Ａ４　上面？

Ａ・Ａ１　それは、

Ａ・Ａ１　本来見るべきは、

Ａ・Ａ１　ご協力を。

間。

Ａ１　協力していただきたい。

Ａ１　協力。また、

Ａ１　お願いします。

Ａ１　ずっとそう言いますが。

Ａ１　はい。

Ａ・Ａ１　どんな。協力を？

Ａ・Ａ１　教えていただきたい。

Ａ・Ａ１　なにもない。

Ａ・Ａ１　ない。

Ａ・Ａ１　ありません。

Ａ１　実際のところ、我々も完全に専門家というわけではない。

Ａ１　確かに上面を追っているかもしれない。

Ａ１　とにかくアウトラインを、

Ａ１　言い方はいろいろになりますが、

Ａ１　協力。結局は、その協力とやらの制度が高ければ、それがつまりは、自白になる。

Ａ１　まさか。

Ａ１　本当に？協力とはつまり、自白をせよということ。

Ａ１　もし、攻撃について知っていることがあれば、

Ａ・Ａ１　知っていたとして……。

Ａは、この場に居る全員を視界に収められる様な場所に移動していた。

１や他たちを見ながら、言葉を選び、少しの間沈黙する。

Ａ　どうあれ、今以上になにか知っていると判断されれば、即座にどこからか人が来るのでは？

２　この場所は、

３　ここは安全です。

Ａ　録音も録画も？

１　していない。

Ａ　安全。

１・Ａ　盗聴もない、

Ａ　録音も録画もしていないし、盗聴もない。

１　いまどきそんなことがあり得るんですか。

Ａ・・Ａ　ありえないからこそ、

Ａ・Ａ　（いまどきに反応する）いまどきはという盲点が、

Ａ　信じられない。

Ａ・Ａ　いや、

Ａ　ああ、信じる必要はないか。

１　盲点はある。

Ａ・Ａ　盲点。面白い。一体、なにの盲点か、

Ａ　詳しくは、

１　比喩。

Ａ・Ａ　詳しく説明はできない。

１　おもしろい比喩だ。

間。

１　つまり、言葉でしかない。

Ａ　では、そうですね。

１はしばらく考える。

たまごサンドを一口口に運び、マグカップを手に取ると、他のひとりがコーヒーを注ぐ。１はコーヒーを注いでもらいながら「ありがとう」などの反応を返す。たまごサンドを食べきらないまま、小皿に置いて話し始める。

１　聞かれてはまずい話しをしましょう。

Ａ　……。

１　まだ完全に把握しているとはいえない。厳密には、

Ａ・Ａ　厳密？

１　さっきからの会話で、

Ａ　それもそうか。

１　一応まだ、続きがあります。掴んでは、いる？

Ａ　疑問形？

１　形としては。

間。

１　具体的には、ＮＴＰサーバを狙った。
ＡＮＴＰ。時間を、どうするんですか。
１それぞれのサーバのＮＴＰデーモン。帯域を埋めるような攻撃ではなく、繰り返しＮＴＰデーモンのロジックを狙う。標的は、物理層でもネットワーク層でもなかった。
Ａああ。
１可能だった。
Ａ可能？
１脆弱性自体は、発見済み。
Ａ・攻撃はできる。
３なるほど。
Ａただ、できることがほとんどない。
３ほとんど。
Ａほとんど。
１タイムサーバで、
Ａはい。
１時間。
Ａサーバの時間ですね。
３できることか……。

間。

１ただ……。そう。拡張フィールドに細工をほどこしたパケットを非同期で送り続けて、サーバの時間を少しづつ狂わせていく。狂いが生じれば自動的に補正させるはずのサーバの時間が、偽の情報によって徐々に歪んでいく。
Ａただ一方的に送られる。
３ＵＤＰ。
Ａ・偽装された。
１それは、
Ａそう。ＵＤＰ。ただ送られているだけではなかった。でも、帯域を埋めるほどでもない。既定値以上の時間のズレを検知したシステムが停止したり再起動したりしない様にだけ、正しさを錯覚したままでズレ続ける。
３・分散。
１偽の情報が正しい。
３その正しさの歪みが閾値を越える瞬間に、全てが破綻する。ネットワーク上の正常なゆらぎでもなく、同期のバグでもないズレ。
Ａでも、実際のところまだなにも起こっていない。
１まだ。
３今は。
Ａどうなります。どうもならないかも。

間。

１　仮説を立てました。

仮説という言葉に対する反応は、各自どの様なものだろうか。

１　このたわみが、ある瞬間に全て露見して、それでもまだＮＴＰデーモンがそれぞれに錯覚を続けていたらどうなるのか。

間。

Ａ１　５分以上の齟齬があれば、

１３　５分。

Ａ１　ケルベロス。

・・・　標準的な設定のケルベロスなら。認証で無効扱いになる。

１・・・　時間か。

そうなれば、　タイムスタンプ。

１・・・　通信は、

そうなればデータベースや、なんらかのＡＰＩでやり取りされているものが一斉に麻痺して、

３・・・　リトライ、ロールバックが、

あっという間に、麻痺がおこる。

中心も失われる。

・・・　麻痺の原因、麻痺の中心。

行き交う混乱そのものが形。

１３１・・・　そう。そんな形になる。

一度変わってしまえば、それは、

１３１　一度変わってしまえば、システムの復旧にはとんでもない手間がかかる。

Ａ１４１２　更新してリスタートですよ。

断面が美しければ、

全てを一斉にリスタート。できると思いますか。

混乱の輪郭は直線的でない。

おそらく、汚染は幾重にもなっている。

混乱の中でやりとりされたデータの整合性や、正しさは、

それでも、それはたかだか通信ネットワークの正しさのこと。

１Ａ２１　なにをどの程度切り捨てるのかを決めるためにも、タイムラグは発生する。

Ａ２　いつもの様に、簡単に切り捨てればいい。

Ａ１　そうはいかない。

いるもそうしているのに、

そう。

・　我が事となると違うのか、

大量の断面、

Ａ・大勢の担当者。
Ａまがりなりにも、なにかの意思がそこにあると、
Ａ３ああ。
誰がそこに、ひとつひとつの意思を見て、少しでも手を止めるのか。
政府がそんな組織だということ自体が幻想では？
１あるいはそうかもしれない。
２それもただ、断面。
１４断面は、そうして見逃せない手間を数多く作る様に計画されている。
１発生せざるを得ないこの多少の麻痺や停止が、次になにを呼び込むのか。
Ａ次。
１・停止の断面を狙っているわけではない、
１断面を作るのではなく、停止の時間を作ること、
１・長く、なるべく長く。
そう。一度発生してしまったこの通信の中の齟齬を、完全な正しさで塗り替えるには、それなりに時間がかかる。
２原因を絶たなければ、また同じことが起こる可能性もある。
Ａああ。

間。

Ａそれを……。仮説？
１はい。
Ａ１・なにが、なに？
Ａ１・どこからが仮説か？
そう。

間。

Ａ犯人かもしれない人間には、教えられないか。
１どこまで掴んでいるのか、
Ａ１そうなりますね。
１これはまだ、どことも共有していない。
Ａ１仮説を？
１はい。盗聴があれば、ここが盗聴されていれば、ひょっとしたら、大きなヒントを得て、動き出す連中が居るかもしれない。
Ａその可能性がある話をしたから、ここが盗聴されていないと信じろと、そういうことか。……そんなことをしてみせたから、なにかの証になるなんて、
１なりませんか。
Ａ１ルールが違う。全く。
Ａ１・ルール。
ルールですか。
違いますか。

間。

１　そうかもしれない。

Ａ１　このままですよ。

Ａ４　どうにもならないと、

Ａ１　どうにもならない。

３１　実際、まだなにも起こっていない。

２３　進行している。

１２　汚染は広がっているはず。

Ａ１　ただ、まだネットワークの混乱には至っていない。

・・　このまま、なにも起こらないかも。

３・・　それはない。

ＮＴＰサーバの同期がおかしくなっている状態は、汚染は確認済みで、そろそろ手が付けられない。

Ａ１・　確実に進行している。

　　進行中の攻撃は存在している。それは確信しています。

Ａ１　どうしたいんですか。

間。

Ａ　協力した、その結果は、

Ａ１　どうでしょう。

　　曖昧なのか。

・１Ａ１　汚染は発見した。

Ａ・　ある程度は状況が見えている。

　　笑える。

　　いつの間にか、雨が降っていたのだろう。

　　雨音か、強い雨の気配。距離のわからない、長く響く雷の低く鈍い音。

　　沈黙の中で、Ａと１や他の位置関係が取り直される。

　　Ａは、なにかを考えている様子を見られるままにしている。

　　長い沈黙は、Ａの沈黙で、皆は沈黙しているＡを見ている。

Ａ　例え話でよければ、

Ａ１　例え話。

　　ああ。例えばなしではないか。

間。

Ａ　申し訳ない。とりとめがなくなるかもしれない。ただ、言葉が……。

Ａ１　どうぞ。

　　……。

１、２、３、４たちは、Ａの言葉を聞くための態度に入る。
Ａは、その気配の中で、ゆっくりと手探りを始める。

Ａ　小説家の切腹、学生の殺し合い、化学兵器のテロ。他にもあった。なにを知っていますか。
１　……他。
Ａ・・　他ですか。
Ａ・　２０００年代にはいれば、まだ他にも、
Ａ・　ああ、古かった。
Ａ・　事件なら、
Ａ・　そう。ただ、結局……。結局こうやって事件を並べてみて、どうだろう。結局、なんにもならなかったと確認する。これは、どうなる筈だったんでしょう。
１　どうとは？
Ａ・　事件によって、
Ａ・　いや。ううん……。それは、
Ａ・　それ、
Ａ・　事件。
Ａ１　事件。
Ａ１４・　それは、どんな風に語られて、どんな風に理解されたか。事件か。
Ａ１４・　事件。
Ａ１４・　世間はそれなりに。
Ａ１４・　ああ。
Ａ１４・　それなり。
Ａ１４・　そう。
Ａ１３・　そう。そして、今が、今。今に至る。
Ａ３１３・　重要。
Ａ３１３・　なにが、
Ａ３１３・　重要。
Ａ３１３・　そんなに重要ですか。
Ａ３１３・　ううん。これは、この今は、誰によって望まれていた今なのか。
Ａ・　誰。
Ａ・　誰がなにを考えていたのか。
Ａ１４１・　それぞれの、
Ａ１４１・　どこに行きつくんですか。
Ａ１４１・　少なくとも、誰かという特定の人物は居ない。
Ａ１４１・　この話しは。
Ａ１４１・　そうかもしれない。これを望んだ組織もない。
Ａ１４１・　今。
Ａ１・　ただ、なにかの手がかりになったんでしょうか。
Ａ１・　手がかり。
Ａ１・　手がかり。
Ａ１・　今。現在に至る。

間。

Ａ　出来事はは起こった。なんらかの影響はあった。あったかもしれない。でも、それはただ、過ぎていくだけの、
・・　ゆく川の流れ、
月日の、
Ａ・　そう。過ぎていく。誰にとっても、なんの手がかりにもならないまま。やがて、社会システムが維持できないと、誰もが認めざるをえなくなっても、なにかを手放せば、これまで通りなにもしないままでも居られるならと、そうして迷うことなく次々と手放す方を選んだ。
１　それが今と。
Ａ　その果てが今。

間。

Ａ　ずっとなんでもなく暮らしていた家族が、ある日連行されても、元々最初からそんな人たちが居なかった様に続いていく日常だ。それが合理的で、誰もが受け入れる。
１　それが今。
Ａ１　世の中の大部分がそうなら、
１　なにかができたとでも？
・・・　もし、
なにかが変わった瞬間があるとしたら、
その瞬間を感じられたら？
Ａ１・　そんな風に考えている、
いいや。なにかをする。行動する意味なんて、そもそもあるだろうか。

間。

Ａ　問う必要もない。行動の必要は無い。
Ａ１　どうして。
Ａ　そう。
Ａ・　（なんらかの反応）……。
Ａ１　聞くことになる。
Ａ１　例え話。
Ａ１　例えにならなかった。

間。

Ａ　（他の皆を確認しながらゆっくりと。ただしこの態度が、犯人の告白や挑発の様に見えてはならない）大変な皮肉だ。だって、ネットワーク全体の時間を正しく保つための多数決の仕組みが悪用されるなんて。
１　確かに。
４　なにもかも、そんなものかもしれない。
３　そんなものだとは、

Ａ、コーヒーを飲み干して、マグカップを差し出す。
近い者が、Ａのマグカップを受け取って、コーヒーを追加する。

Ａ　少しだけ、（受け取る）ありがとう。

コーヒを注いだ誰かがＡと少しだけ言葉を交わすかもしれない。
Ａは、言葉を選びながら、話を続ける。

Ａ　神通力の無い人間の前では神通力を使ってはならないというのが、大昔の仏教の戒律にあったんだとか。詳しくはないんですけど。神通力に本質はない。大きな目的を果たすことこそが大切で、神通力は……。
神通力は神通力でしかなく、
１　それによって信仰が歪む？
Ａ　目標が果たせなくなる。
４　目標。
Ａ　解脱。
３　それがなにを指すか、
４　解脱？
Ａ　目標を果たす。
１　特別な力のせいで、目標にたどり着けなくなる。
４　そんなことがあってはならない。
Ａ・４　「目標。／目的。」
そもそも、私の技術は、仕事でしかない。

間。

Ａ　いや。そんなことを、ふと思い浮かべただけです。

Ａは考える。
伝えられないことを

Ａ　聞かせていただいた攻撃の方法については、条件がそろえば可能。
１　はい。
Ａ　それは理解できる。
１　はい。
Ａ　理解と実行は違う。
４　もちろん。
Ａ　しかし、
１　できたのでは？
３・４　可能な人間は、
１　実行可能な人間は、極めて少ない。
３　理解できるのは、
Ａ　理解できるのは技術があるからで、
１　確かに。

Ａ　そう。実行とは無関係だ。
Ａ１・Ａ　（関係）関係を、そうですね。
Ａ１Ａ・１　間違っている。
Ａ１４　なにを。
Ａ・１Ａ１４　なにが。
　……。
　間違い、
　それはあくまで、
Ａ１Ａ１４　そうでしょう。
Ａ１Ａ１４　無関係と。
Ａ４Ａ１Ａ１４　いや？無関係とも思わない。
Ａ４Ａ１Ａ１４　では、
Ａ４Ａ１Ａ１４　攻撃が本当に計画されていたとしたら、それを見過ごしていた。気付くことができなかった。

　間。

Ａ　通信の様子を見ることもあったし、確かに直接パケットも見ていた。記録がありますよね。
２４　把握を。
３２４　確認しています。
Ａ３２４　あります。
Ａ３２４　さすが。

　間。

Ａ１Ａ　仕事上のミスについて、
Ａ１Ａ　はい。
Ａ１Ａ　ミスの追求ではなかった。
Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　ミス、
Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　そうですね。
Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　はい。攻撃目的のパケットを見落としたのではない。
Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　聞きたいのは、
Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　見落としたのではないと。
Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　見落としたのではなく、敢えて無視を。
Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　無視。
Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　もしくは、
Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　隠蔽はあるにしても、
Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　確認を担当しているのは、私だけではない。
Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　確かに。
Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　隠蔽か、
Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　はい。
４２１Ａ４Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　広がりかたを、
４２１Ａ４Ａ４３Ａ１Ａ・Ａ４３Ａ１Ａ　汚染の広がり方を、時間的に見て、

Ａ３　それと、現地作業の記録を突き合わせました。
　大変な苦労。
Ａ１Ａ４　仕方がない。
　状況的には、確実に何人かに絞れると判断しました。
Ａ４Ａ１４　その、何人かのうちのひとり。
　そうです。
Ａ１Ａ・１４　ひとりと。
　「最後／さいごのひとり／残るは」
　ひとり。
Ａ１Ａ　はい。
　そして、調査の結果を踏み込んで教えただけで、この場所は安全だと、
Ａ４Ａ３１４　盗聴はない。
　情報は漏れない。
　それについては、信用していただくしかないのは確かですが、
　立場の、そもそもの、強いとか、弱いとか。
　無理強いはできない。
　どうして、
　間。
Ａ１　繰り返しになるかもしれません。状況から、
Ａ１　けれど、もう帰れない。他の、他に疑われた人間が何人居たのかは
Ａ４　知りませんが、無事なんですか。
Ａ４Ａ４　無事です。
　本当に？
Ａ４Ａ４　大丈夫。
　なにか、そういえる理由が？
Ａ１Ａ１　最後のひとり、
　まさか、それが理由？
Ａ１Ａ１　同行をお願いしたのも、
　ああ。他は、こんな風ではなかった。
Ａ１Ａ１　そうですね。
　無事の理由がどこにもない。疑われる理由と同じくらい。どうでし
　ょう。我々は死んでしまったとしても、かわりの技術者を調達すれば、
　ネットワークの維持はできる。
Ａ３　流石にそこまでは、
Ａ４Ａ４　できないわけはない。
　まさか。
Ａ４Ａ４　理由がない。
　ないなんて、
Ａ４Ａ４　処分しない理由ですよ。疑わしい。
　限りなく。
Ａ２Ａ４　十分ですよ。それで。普通は。

１　それでもし、真相が掴めないまま本当にネットワークが混乱してしまっては、取り返しがつかない。
Ａ　調達すればいい。
４　予想通りの状況になれば、混乱が長引くだけで、余計に事態が悪化します。
３　（調達に反応して）混乱を最小限に抑えるには、エンジニアを、
４　（調達に反応する）調達なんて、
Ａ　エンジニアを活かしておく理由はあるということですか。
４　品物ではない。
Ａ　建前としては。いや、人間の方が扱いは軽いのでは？

間。

Ａ　実際にはどの程度の人数が、同じレベルの技術力で現場をこなしていけるかは知りませんが、どんな技術があろうが、人はある日消える。それはおそらく、消えるだけのことをしたからだと、誰もが考えて、特別なこととは考えない。少なくとも、物心ついた頃にはそんな風だった。違いますか。人数は問題じゃない。連れて行くがわの都合しかない。

間。

Ａ　こんなことを言う人間なので、余計にここから出すわけにはいかないか。

間。

Ａ　ひょっとしたら、そんなセキュリティホールを発見していれば、なにかしたかもしれない。けれど、仕事で担当しているだけです。それ以上の目的もなければ、この技術を使って、担当している範囲をこなす以上のなにかとしようと考えたこともない。
１　戒律を、
Ａ　そう。ある意味で、
４　本当の目的のためには、
Ａ　本当の？
４　はい。
Ａ　そんなものが、
３　目的？
Ａ　目的。なんの。
４　本当の、
Ａ　本当とは？
１　どうでしょう。
Ａ　さぁ。
４　ある様に聞こえる。
Ａ　そうか。立場が違うと、随分違う様だ。
４　立場。

Ａ　立場でしょ。連行する側と、連行される側。
・・・・。
Ａ　言いたかったのは、こういうことかもしれない。技術者を疑った。妥当な線でしょう。インターネットが厳格な管理下に置かれて、勝手に学ぶことはできない。
１　だが、それでも、
Ａ１　そう。ダークウェブは根絶できていないことになっている。
１　そう。
Ａ　そうかもしれない。それはそれで、あることにしておけば、都合がいいからでは？
２　確かに存在はしている。確認も。海外のサーバへの通信は、注意深く監視されていて……。どうでしょう。本当は、全く未知のセキュリティホールが攻撃されていて、その結果、
４　その可能性も、
Ａ４　ああ。
Ａ２　最初は追っていました。
Ａ　最初？
４　侵入の方法について、
１３４　はい。
１３　どうやってこんなことができたのか、正確にはわかっていません。

間。

１　今はもう、汚染が広がってしまった後の状態。
Ａ４１　遅かった。
Ａ　改ざんがあったなら、それは確実にネットワーク経由ではないはず。
３　システム上はそうです。
４　現場の手順自体が、
Ａ４　それがわかっているなら、対処もわかっているはず。それとも、ここはこうして当てずっぽうで人を連れてくるのが役割の場所ですか。

間。

Ａ　返事がないのは、当たっているから。
１Ａ１　正確には、
Ａ１　正確。
Ａ１　どんな風にお答えしたものか、
Ａ　その、用心深い正確さは、誰の役にたつものですか。

間。

Ａ　海外からの攻撃ではないと判断した。内部の技術者が疑わしいと判断した。この二つは間違いないですよね。
１　そうですね。

なにか、かすかにアラームの様な音が聞こえる。
１、２、３、４は互いに顔を見合わせる。
３がこの場から退場する。

Ａ　なんの音でしょう。
１　まぁ、話しを続けましょう。
Ａ１　対処の話しでしたか。
１　まだ、結論は出ていませんが、おそらくは全てのネットワークを遮断して、正しい時間を設定するしかない。
２　部分的なワクチンでは、むしろ混乱が広がる。

アラームの音が止まる。
この場の誰もがそのことに気を取られる。

２　……サーバの汚染は今、多くの時間のズレの層を作り上げています。更に少しずつずらしながら。
１　今、中途半端に正しい時間に合わせようとしたら、それが決定的な混乱の引き金になってしまう。
Ａ　止めるしかない。
Ａ・　その場合、
４　うん。
Ａ４　おそらく、一旦全てのサーバを停止して、修正しなければ、
Ａ１　感染を確認すれば、
４　果たして、その時間が残されているのか、
１　時間のたわみが限界に達する方が先では、
Ａ・Ａ４　そんな風に、
Ａ・　予想ですが。
Ａ・　そう予想していて、

３が、何らかのメモを持って登場し、１、２、４のそのとき最も近い人物に無言で手渡し、退場する。
最終的にメモは１の手に渡り、１は小さくため息をついて、特に誰かに視線を送ることもなく退場する。

２　国内の全てのサーバの一斉停止なんて、そもそも考えられない。
２Ａ　誰も言い出せないだけ。
２　確かに。

間。

Ａ　誰も、言えない。それが。サーバを全て止めなければなりません。ネットワークは使えません。全ての作業が終わって、安全が確認されるまで。
２　そういうことです。
４　こうしている間にも、サーバは止まるかもしれない。

Ａ　誰がどんな責任を負うか。結局、そこは変わらない。
４　それもそうだ。

間。

４がこの部屋から出ていく。
４になにか思うところがあるのか、それを読み取ることはできない。
唐突な退場の方になにかの意味が生じる様な様子であること。
２はこのとき、どこに居るだろうか。
この場にＡと残されることがわかった２は、Ａに近づくことなく小さな机に向かえるのであれば、そちらに座る。
もしすでにＡが小さな机付近に居て、Ａに近づかざるを得ない場合、４の退場を見送った２は、Ａに対して即座に話しを切り出す。

２　実際に、どの程度の人が、時間をかけたものとそうでもないものを気にするのか。
Ａ　時間ですか。
２　ああ。例え話しと聞いて、思い浮かびました。例え話しという言葉、それ自体かな。
Ａ　例え話しそのもの？
２　はい。いいですか。
Ａ　……。

Ａの様子を見て、無言は許可であろうことを確認し、話し始める。

２　時間をかけたものと、かけていないものの違いをどんな風に意識していくのか、そんなことを思い出しました。見た目との違い、
Ａ　はい。
２　この、手口自体の計画性や、隠蔽の巧妙さ……。どうやって、準備したんでしょうか。脆弱性の発見、実際にその脆弱性を攻撃する手口。実験をするにしても、その実験の環境も必要な筈だ。今は、環境の確保自体が難しい。
Ａ　そう思うなら、逆に聞きたい。
２　はい。
Ａ　私を、同行させると決めた。そんな時間をかけた攻撃ができるという風に見えたんでしょうか。
２　いいえ。

間。

２　だからこそ、
Ａ　だから？
２　あきらかに時間をかけたものだということが、異様に感じられる。
Ａ　異様。
２　はい。

間。

２　ありえない。

Ａ２　なにが。

Ａ２　単独では。

ああ。

間。

Ａ　それも、実際はどうなんでしょう。

２Ａ２　というと？

Ａ２　現実に、攻撃のための汚染が進んでいるんですよね。

２　はい。

Ａ２　時間が経過したものを見て、それを追っている。

間。

２Ａ２　はじまりがどうだったか、

Ａ２　原理は、

２Ａ２　原理。攻撃の方法の？

Ａ２　そうですね。

２Ａ２　最初がどうなっていたのか。

Ａ２　単独犯なのか背後に組織があるのか、

２Ａ２　今は、

……。

Ａ２　拘束して、あなたがたにしてみれば、たいした時間ではないかもしれない。

２Ａ２　ご足労を、

Ａ２　組織？

２Ａ２　いえ、それは、

Ａ２　背後関係というやつですね。

２　はい。

間。

２　これもあるいは、時間をかけて入念に準備されたものを見ているからだと、

Ａ２　的外れだったとは、考えない。

Ａ２　あなたは、なにかを実行している筈だ。

２Ａ２　筈。

２　今はもう、始まりの様子を判断できないところまで、状態は進んでいる。政府機関のネットワークの混乱は、いつ始まるかわからない。

Ａ２　対処を。

Ａ２　安全な対処方法が、まだ確認されていない。

間に合うんですか。

２　わからない。

間。

２　これだけの時間をかけた仕掛けなら、それを作る手間も、繊細な技術も、ただできるから、できたからというものではない筈。

Ａ　ならば、動機。でなければ、なんらかの組織。

２　そうです。

Ａ２　残念ながら、

２　はい。

Ａ２　なにもわからないまま、ここに連れてきた。やはりそんな風にしか聞こえない。

２　確実に、無関係な場所で作業をしている。逆に、そんなことがあり得るのか、

Ａ　関係が無いから疑われるなんて、

２　あなたと同じセクションの人間は、

Ａ２　同じ立場のエンジニアは、いいですか。同じセクションのエンジニアとは、原則として接触を禁じられています。

２　はい。

Ａ　ご存知な筈。それは、秘密保持とセキュリティのためだけでなく、技術が、まさにこうなることを恐れて実行されていることではないですか。

２　確かにそうですが、それでも連携のための、

Ａ　そうですね。何らかの形でエンジニアが結託することはできるかもしれない。汚染は、どれだけの時間をかけて行われたんでしょうか。

２　少なくとも、半年前。

Ａ２　半年。少なくとも半年、誰も脱落せず、密告もなく進行する。長い。長い？

Ａ２　そんなに長い時間、全く計画が漏れないなんて、ありえますか。

２　そうですね。

Ａ２　もう、言葉の中に組み込まれてしまっている。

２　言葉。

Ａ２　密告とは言わなくなった。報告ですよね。

２　報告。そうですね。

Ａ２　呼吸をするのと同じくらい、報告は当たり前に要求され、

２　では、一人で実行されたものだと？

Ａ２　そもそも、どんなものかもわからないのに。どんなものかもわからないまま、ずっと、なにも把握していないあなたがたに、なにかの答えを求められている。

２　答えが欲しい。

Ａ２　どんな。

２　確かに。

Ａ２　確かに？なにが。

２　いや。

間。

２　ありえますか。

Ａ　なにが。

２　汚染を把握して、我々は調査した。セクションのあらゆるレベルのエンジニア、関連があれば全て。

Ａ　人数や量はさておいて、記録も報告もはっきりと残っているはず。

２　そうです。

Ａ　監査が、

２　はい。監査も、ずっと問題は無かった。

Ａ　全て監視されているし、報告も、

２　そうです。ただ、どうすれば……。

Ａ　……。

２　無関係だ。

Ａ　無関係です。

２　常に、全く。

Ａ　無関係だからでは？

２　あり得ると。

Ａ　無関係？

２　作業の直後に汚染が確認されたこともない、汚染の直後に作業をしていたこともない。

Ａ　そんな莫迦な。

２　そうだ。そんな莫迦な。確率は極めて低い。あなたが担当しているセクターの中で、そんなことが、そんなことはそもそも起こり得ない。そんな状況の中に居る人間なら、

Ａ　おこり得ないこと。

２　汚染された直後に作業をしたこともない、汚染のトリガーを引いたこともない。作業の中で、危険なサーバを偶然回避する確率は８０％それをひと月の作業の間、約３００回のログインで繰り返した。０．８の３００乗。

Ａ　３００乗。一回一回のただ計画に従って確認して報告するだけの作業が、簡単に、

２　計算上は、

Ａ　累乗されていく。

２　ぬかるみの道を、泥に汚れずに歩くことはできない。

Ａ　怪しくないからこそ怪しい。

２　そういうことです。

Ａ　そういうことですか。そんな作為的な統計が手がかりだなんて、まるで、

２　作為的。

Ａ　違いますか。０．８の３００乗。数字だけだと全くイメージできませんけど、

２　そうですね。コインの表を連続１００回出す。

Ａ　ああ。

２　世界中の砂の数が、１０の１８乗とも１９乗とも言われていますが、

Ａ　その砂粒のひとつ。
２　はい。
Ａ　いくらなんでもそれは、作為的では？その作為の中に居る人間ということになる。
２　そうです。
Ａ　なぜ、あり得ないこと自体を疑わなかったんですか。
２　はい。
Ａ　それ自体。何者かによる作為的な目眩ましとは考えなかった。
２　考えました。だが、
Ａ　ああ。なにも、
２　なにも掴めなかった。
Ａ　いい加減な。
２　いや、
Ａ　いいえ。
２　……。
Ａ　では、本当に大規模なサーバダウンが起きて、本当に調査が行われたときに、そんな情報がなにかの役にたつと？
２　どうでしょうか。
Ａ　泥の中を汚れずに進んでいる様な、
２　はい。
Ａ　裁判でも、そんなものが有罪の証拠に？
２　それは、
Ａ　それは？
２　いえ、判断できる立場ではない。
Ａ　裁判まではいかないか。
２　わかりません。
Ａ　……それもそうだ。でも、いくらなんでも、政府に関連する通信ネットワークのサーバ。どのくらいの数があると、
２　十万台、
Ａ　約十五万。
２　ああ。
Ａ　決められた仕事をしていて、監視され、報告を出し、同じセクションのエンジニアとの接触も制限されている中で、どうやったらそんな数字が出るんですか、
２　作為が、
Ａ　どうでしょう。
２　誰かが、そんな風に仕掛けてこうなっていると、
Ａ　そう言う他に、どんな、
２　そうですね。

間。

２　時間をかけることで、本当に、この攻撃がどうやって仕掛けられたのか、最初はどうだったのかが見えなくなっている。

間。

Ａ　そこに戻るのか。

２　例えば、時間をかける料理の中には、そんなものもあると。

Ａ２　時間をかける。

２　はい。なにが仕掛けられていたとしても、ここまできてしまえば、あとはコインの表か裏。

Ａ　コイン。

２　コイン。そうです。最後は決まっている。目的を果たすために、最終的には、そういうわかりやすさのものを用意しておく方がシンプル（かもしれない。）

Ａ　そのコインは……。

２　はい。

Ａ２　誰のコインだろう。

２　誰、

Ａ２　誰が、表か裏かを見る。

２　誰のコインでしょうか。

Ａ２　シンプルもなにも、最後は、成功するか失敗するかなのでは？

２　ああ。確かにコインでは例えが悪い。

間。

２　実際とはまるで違うものに見えるのではないかと、

Ａ２　それは、

２　はい、

Ａ２　時間？

２　時間をかけた計画だとわかって、結果的に実像を掴めなくなっている。

Ａ２　極端な結果を根拠にしてしまっている。

２　……。

Ａ２　帰れなくなっています。そう聞かされました。そこに戻る。答えを知っているかもわからない人間を連れてきてしまって、聞かせる話しがこれでは、ただ時間が過ぎて行くだけ。

２　必ずしも、わからなければなんでも同じとはいかない。ネットワークの多数決の悪用と言われました。それが今回の攻撃の全てです。幾重にも矛盾する５分の誤差の中で、それぞれのサーバが自分が多数派だと、間違った認識を持っている。

Ａ２　多数決。

２　多数決が、

Ａ２　それが多数決。そんなものです。

２　多数派は、多数だと信じているだけ。

Ａ２　これは、サーバの設定の話し。

２　ああ。

Ａ２　ただの仕組みです。

２　仕組みか。そうですね。このたわみが臨界点に達したら、ネットワークが混乱して、どちらにせよ止まってしまう。正しく復旧するとしたら、一度全てを遮断するしかない。そして、全てを復旧させないと、またどこかで汚染が始まる。
Ａ　そうですね。

間。

Ａ　やはり、海外からの攻撃では？
また、別のアラームの様な音が聞こえる。
Ａ　まただ。なんの警告音ですか。
２　……。
Ａ２　さっきとは、また別の……。
２　まだここでお待ちください。
Ａ２　必要なんですよね。
２　もうしわけない。

２、退場する。
アラームは止まらない。
Ａは何を考えるだろうか。
アラームが止まない中、大きくゆっくり息を吐く。
３が登場する。

Ａ　なんの警告音ですか。
３　たいしたことでは、
Ａ３　とまらない。
３　はい。
Ａ３　大きな音なのか、この場所の壁がそうなのか、
その推理は無駄です。
Ａ３　ただの好奇心。
３　その好奇心は、
Ａ３　無駄ですよ。
３　そうですか。

間。

３　ネットワークをダウンさせて、なんになるんでしょう。
Ａ３　さぁ。
システムが停止して、なにかが変わることはあるんでしょうか。
Ａ３　想像もつかない。
ほんの一部が止まったり麻痺したからといって、何かが変わるでしょうか。道具は道具でしかない。使えない間は、きっとただ不便なだけ。

Ａ　恐らくは。

　アラーム音が聞こえなくなる。

３　なにが目的ですか。

Ａ　わからない。

３　ネットワークは何日止まることになるでしょうか。

Ａ　汚染の範囲にもよるとは思いますが……。通信の復旧だけでいいなら、そんなに時間はかからないのでは？

３　それは、通信ができるだけ、そうですね。

Ａ　機能的な、

３　なにもわからないのに。

Ａ　そうでした。

３　なにかが起きたとして……。システムの復旧と処罰。どちらが先になるでしょうか。

　間。

Ａ　わからない。予想もつかないか。どんな義務感で、ここに連れてきたのかもわからないままですが、あなたがたが言っていることが本当なら、ここから出て殺されたとしても、それは時間が前後しただけ。違いますか。

３　……。

Ａ　はっきりしている筈。

３　協力してください。

Ａ　犯人だと、そう。

３　はい。

Ａ　ことの大きさに、考えを翻した。それで、なにか免責でも勝ち取れるんでしょうか。

３　それは、

Ａ　そんな権限がある。

３　……。

Ａ　無理ですよね。

　間。

Ａ　なにより、犯人ではない。

３　それなら、

Ａ　システムの一部に過ぎない。

３　そんな。

Ａ　むしろ、その反応の方が理解できない。

３　組み込まれているだけだと、

Ａ　ずっとそうです。

３　そうですか。

Ａ　違うと。
３Ａ　それは、
Ａ３　あなたは違う。
３　どうでしょう。
Ａ３　どんな義務感でと、
３Ａ　そうですね。それを明かすことは、
Ａ３　知りたくもない。
３　はい。

間。

３　なにも起きなければいいと考えていました。でも、どうやらそうはいかない。それでも、もしこれがなにか必要以上の悪い状態を引き起こすようであれば、それは阻止しなければ、
Ａ　状態。
３Ａ　はい。
Ａ３　こんな場所で、
３　それでも。
Ａ３　なにがあるつもりになっているんですか。
３　どんな些細なことでも、なにがあろうと、目を覚まして、たしかに呼吸をしている瞬間はあります。誰かと話しをする瞬間、なにか、温かいものを手にしたとき、ちょっとした、なにかの香り、
Ａ　それは、
３Ａ　はい。
Ａ３　そんなものが？
３　それだけでも。
Ａ３　それだけでも。

間。

３　希望は羽をまとった姿で、
Ａ３　都合のいい幻。
３　それでも、止むことのないメロディを、
Ａ　くだらない。そうやってたださまよって飢えて死ぬから、全ての人間もそうしろと、
３　そうではなく、

二人の話しの間に、４が登場している。

４　パンくずを求めることはない。
Ａ　どんな詩に託しても、現実は変わらない。
３　そうだとしても。
Ａ３　無意味だ。

４、３にメモを渡す。

メモを見た3は、そのまま退場する。

Ａ　とりあえず、動きはある。
４　そうですね。動きはある。

間。

４　おそらく、タイムリミットが近づいている。
Ａ　リミット。
４　このままにはしておけない。
Ａ　なぜ。
４　そうですね。
Ａ　なにも変わらない。
４　大きくは？そうかもしれない。
Ａ　変わりません。
４　あなたは、そうはいかないでしょう。
Ａ　それは、確実に。
４　身の証を、
Ａ　無駄ですよね。おわかりの筈。

間。

４　それでも。
Ａ　どうして。

間。

４　そもそも、理由がある。
Ａ　ずっと、そうですよね。
４　どうして、こんなことをするのか。
Ａ　私にはわからない。
４　どう思いますか。
Ａ　どう。
４　想像で構わない。
Ａ　想像もつかない。
４　技術はお持ちだ。
Ａ　それとこれは違う。何度も、
４　確かに。でも、どうなんでしょう。これは攻撃だ。
Ａ　そうですね。
４　どうして、
Ａ　どうして。
４　はい。
Ａ　どうして攻撃をするのか。
４　はい。
Ａ　やはりわからない。

４　やはりわからない。
Ａ　わからない。
間。
４　政府への攻撃となれば、無目的というわけにはいかない。愉快犯を出すような世の中ではなくなっていること。この周到さ。考えざるを得ない。どうしてか、
Ａ　攻撃の必要があったから、
４　攻撃によってなにを得るのか。
Ａ　得るものが必要だと。
４　攻撃をすることによって、得られるものはなんだろうかと考えます。愉快犯も、それができたからという人間も、もう社会からは排除されている。こんな状況で、
Ａ　シリアスな、
４　犯罪以上の、
Ａ　スリルも悪ふざけも、
４　はい。ただ、目的が見えない。
Ａ　なくなったんだ。
４　目的？
Ａ　いいえ。目的ではなく、ただの……。なんでもありません。
４　なんでしょう。
Ａ　いや、
間。
Ａ　政府の機能が麻痺するだけで十分なのでは？
４　それだけでしょうか。
Ａ　他になにかが必要になってしまっている。
４　この仕事をしていると、
Ａ　仕事。
４　はい。
Ａ　仕事のせいですか。
４　そうですね。常に、なにかはある。ある。あります。なにもない人は珍しくなっていく。
Ａ　犯罪の？
４　抵抗や反抗の裏には、かならず目的があった。それが薄いただ思い切りのいいだけの人間はとっくにいなくなって、あとに残ったのは、目的。
Ａ　目的。
４　抵抗は、ただの犯罪になった。
Ａ　無意味だから。
４　無意味。
Ａ　抵抗が。
４　そうですね。

Ａ　そんな風になったのは、
４　手順があるはず。普通の、全うな。
Ａ　そこからはみだしたものが全て罰をうける様になって、罰をうけるものの全ては理由のないものになって、
４　理由のないものは、誰とも共有されず、共感もされず、
Ａ　消していく。消える。そうやって今がある。
４　このコーヒーの、コーヒー豆の味も、
Ａ　やすい豆。
４　このたまごサンドの見た目からは全く想像もできないかもしれないマスタードの味も、
Ａ　マスタード？

４がＡにサンドイッチを差し出すが、Ａは拒否するだろう。

４　見えないから、たくさんの人間と共有できないから、
Ａ　（コーヒー）ちょっとコーヒーの香りがするくらいで、苦味も酸味もない。
４　存在しないわけではない。
Ａ　インスタントでないことには、なにか意味があると。
４　例え話しですか。
Ａ　ならないか。

間。

Ａ　おそらくは。……これは当てずっぽうですが。（長く時間を使って言葉を選ぶかもしれない）裏に理由があるなんて、それは、必ずそういうものでしょうか。
４　どうして。
Ａ　ううん。
４　リスクは、
Ａ　そうですね。とっくに、
４　リスクが上回っている。
Ａ　誰も、誰かの抵抗に心を寄せたりしない。
４　そう。
Ａ　そんな風に考えたら、全ては目的に支配されることになる。
４　ロマンチストはもうどこにも居ない。そもそも、そんなものは、小説や映画の中にしか居なかった。いや、どうでしょう。悪役は常に、理想を掲げる裏で自分自身の利益を確保を考えていた。
Ａ　ロマン。
４　いったい、なにがあると思いますか。わからなくなった。ずっと追っていたものがゆっくりと変わっていく、
Ａ　なにが、
４　人に害を与えてでも、自分自身の利益を確保しようとする人間がどこにも居なくなるなんてことがあるとは、考えてもみなかった。

Ａが、なにか言いたげになる気配を見て、４は何らかの態度を決める。

４　少なくとも、そんな人間を追うことがなくなったのは、人が変わったわけではないんだと、そういうことかもしれない。なにが変わってしまったのか、それを見る必要があった。本当に。なにをどう説明すれば、話しになるのか……。

Ａ　話しになる、そんなわけが、

４　いや、話さなければ、

Ａ　そう思っている。そうしている。それだけです。

４　これは、最初からちゃんと共有していくべきでした。動向も拘束も、それはだたの言葉だ。

Ａ　まさか。

４　これも、お互いが、

Ａ　ズレていると考える事自体、

４　考えること、

Ａ　そう。

４　お互いの認識の、

Ａ　認識ですか。

４　確認する必要がありました。本当に。

Ａ　していると?今。

４　伝わっていない。

Ａ　なにもしていませんから。悪役とか、ロマンチストとか、フィクションでもないのに。

４　そうですね。

Ａ　帰れなくなっている。

４　それも。

Ａ　ただ、引き伸ばされている。これまでの時間は、一体なんのためにあったんですか。

４　無駄な時間潰しはしていない。

Ａ　人に害を与えてでもと、

４　はい。

Ａ　利益も損害も消えてしまったからですよね。

４　……。

Ａ　誰が望んでいたのか。

４　どこかまでは、誰もが。スローガンの間は、

Ａ　本当にそうでしょうか。

４　今はもう検証できない。

Ａ　全体が全体を支え、あらゆる奉仕によって、

４　これは、

Ａ　誰も脱落しない。それはつまり、脱落は存在の消去。

４　もう誰も気にとめない。

Ａ　これが望まれていた、

４　それは、

Ａ　誰が望んで、

４　誰か、

Ａ　誰でしょう。
４　実現を目指した結果が望み通りとは限らない。
Ａ　そうですか。
４　結果を得るために、なにが行われたか、
Ａ　そうか。想像もつかない。

１登場。

Ａ　音は、
１　いや、
Ａ　いつまでこうして、

朝の音が流れ出す。それはチャイムの様な柔らかい音で、市民の目覚めを促す。
２、３も登場する。

Ａ　これも。

チャイムの音に注意を向けるＡ。１、２、３、４は、それぞれこの音のことだと思い至るまでの、反応のがある。

Ａ　本当に朝になった。
・　ああ。
Ａ　世の中が活動を始める時間。この音は、本当に便利な音。

間。

Ａ　本気でそう、本当に、そんな風に考えているのかと口を滑らせて、あのときは一週間停学になりました。そんなことは、あれが最後。
１　最後。
Ａ　私にとっては、
１　なんの。
Ａ　なに？
１　最後。

Ａは、１の問いを鼻であしらう。
その様子は、これまでの皮肉めいた苛立ちの様子に比べると、「反抗的」と言える。

Ａ　高校生がナマイキな口もきけなかった。確かに。口は慎まないと。思っていたることをそのまま口走る様では、社会に出られない。
４　そこまでは、
Ａ　いっそ、なにか言うときには必ず詩や歌にでもする様な、
１　深い意味を、
Ａ　推し量ったとして、直接は口にしない。

３　誰かの詩に託すこと、
ＡＡ　それでも、
Ａ　言葉を、自分のものに、
３　そんなものは、
Ａ　ない。……ないか。
３　ありません。言葉が、
１４　言葉は、
Ａ１４　言葉がない。
１　言葉はない。
誰かの言葉に心を寄せることがなくなって、どのくらいの時間がたったか。あるのか、そんなことが。連帯は消えて、もうなにかに共感することもなくなってしまった。それは、規範に、正しく、規範のとおりになっているか。それが全てだ。間違っていないこと。禁止されたのは言葉でじゃない。禁止は、言葉が消えた後。二度と復活しない様に。おそらく、十分に心が変わった後のことだ。心が変わっていったから、
Ａ　政府機関のネットワークが完全にダウンして即座に復旧できない。そんなレベルで止まったら、なにが起こると思いますか。

間。

４　予想もつかない。
Ａ　そうですね。私にもわからない。ただ、わからないのは、それだけ遠くに居るから。
１　それは？
Ａ　なにもおきないわけはない。

間。

Ａ　違いますか？

誰も答えられない。

Ａ　このダウンを利用して、なにかが起こるはず。その結果がどうなるかもわからないけれど、なにも期待しないから。だから、出来事だけで十分だと考えたとしたら。
１　できごと。
２　事件。
１　軍にクーデターを呼びかけた小説家の失敗。
Ａ　学生の殺し合い。他にもあった。
４　事件、
Ａ　テロ。
３　サイバー犯罪。
２　ＡＩをネットワークから排除して、限定的で安全なインターネットになった。
Ａ　名目上。

１　名目でも。
Ａ　そして、世の中の様子も変わって、
２　だから、どこかで何かが起これば、それだけでいいということですか。
１４　（それだけに反応する）それだけ、
Ａ　何かが起これればか。
１４　何が起こるかもわからない。何も起こらないかもしれない。
４　それだけでいい。それだけでいいのか。

Ａが、皆を見る。
それは、ひょっとしたら、Ａが初めていわゆる「犯人」を思わせる様な、「実行したので知っている」という様子かもしれない。

Ａ　誰かの言葉に心を寄せることはなくなった。誰かの行動にも。いつからそうだったか、どのくらいの時間が経ったのかわからない。誰かがなにかを起こすことはなくなって、連帯。
２　連帯も、
Ａ　それを支持して、心を寄せ、連帯する。
２　誰も、なにもしない。
Ａ　なにもしないかもしれない。
１　なにも起こらないかもしれない。

照明が消え、聞こえていたチャイムの音も聞こえなくなる。
少しの間の後に、非常用のものと思われる照明が灯る。

Ａ　停電ですか？目覚めの音も聞こえなくなった。

２が、やや急ぎ足で退場する。
残された人間は、この状況を訝しむ。

Ａ　これももう、いつもと同じ朝ではない。

照明が復旧する。
外からはチャイムではなく、サイレンの様な音が断続的に聞こえ始める。

Ａ　警報？
１　そうらしい。

２、戻ってくる。

２　ネットワークがダウンした様です。
３　範囲は。
２　わかりません。
４　始まった。

２　ここからも、なにもわからない。
１３　始まった。
１　時間切れか。

間。

Ａ　では、帰れますか？こうなればもう、疑わしいだけの人間は、どうでしょう。
１Ａ１　もう、そんな場合ではないのでは？
Ａ１　構いませんが、しかし、
Ａ１　状況がどう変わろうが、わからないものはわからない。
１　あくまで、
Ａ　ここを出て、例えば逮捕されて、拷問されたとしても、なにも話せることがない。
１　そうですか。
Ａ　どこか、正式な機関に引き渡せば。いかがですか？それとも、この拘束がどこにも報告されていなかったら、

間。

１Ａ１　あくまでも、非公式な同行です。
　そんなことにまでルールがあるんんですね。
Ａ１　これは、
　身を守るための方法は、

間。

Ａ　誰にとっても必要。
１４　非公式な同行でした。
　あくまで、そうです。
２１４　記録を確認した結果は、お知らせした通り。
　統計上、あり得ない。
Ａ３２　ありえないほど、接触していない。
Ａ３　エンジニアに作業を割り振る手順から考えても、
　結果でしかない。
Ａ２　しかし、
　ご存知ですよね。作業の報告を受けるのはシステム。そして、次の作業を割り振るのも、システム。
１４　人間ではない。
　確かに。

間。

Ａ１　イレギュラー。
Ａ　扱いきれなかった。

１　そうですね。
Ａ１　時間切れになった。
１　イレギュラー。アノマリーだ。
Ａ１　言葉がどう変わろうが、同じことですね。
Ａ１　なにが起こるのかは、誰にもわからない。
Ａ１　本当は、それが普通なのでは？
２３　平穏な、
１Ａ２　なにごともないというのは、
１　議論している暇はあるんですか。皆さんは、
１　そうですね。

　顔を見合わせる、１、２、３、４。

Ａ　ネットワークが止まっているなら、出勤しなければ。
１３　出勤？
１Ａ１　可能性は、
Ａ１　可能性？
Ａ１　ああ、いや、
Ａ１　なにも絞れないまま、なにもわからないままで、こうしてできごとの中に、
１Ａ１　こうして、
１Ａ１　本当に？
１Ａ１　始まってしまった。
４１　事態は、
Ａ４１　意味がなかった。
Ａ１　本当に、攻撃について、
Ａ１　本当にサーバがダウンしているなら、
Ａ２　ネットワークは、
Ａ１　攻撃の方法が聞いた通りなら、
Ａ１　どうして、
Ａ１　罠かもしれない。
１４　停電も、警報も、
Ａ１　罠。どうして。
Ａ１　目的を達成して、態度に変化が出るのか、
１　そうか。
Ａ１　重ねて確認したい。
Ａ・Ａ１　はい。
１Ａ　攻撃とは無関係です。
Ａ１　そうだとして、
Ａ１　攻撃の方法が聞いた通りであれば、影響は政府機関のサーバだけでは済まない筈。いや、どこが引き金になっているか、なにも把握しないまま再起動をかけてしまえばＮＴＰは、
３　汚染の広がり方によっては、
Ａ　自分が多数派の中にいると錯覚しているサーバたちが、どうかな。
設定が許す限りの最大の誤差は、

３１６分。
４１６分。
Ａ２　その誤差は、エラーとして、正しく処理され、
Ａ１　多数決は、
　　多数決は、
Ａ４　多数が矛盾する。
　　多数決は破綻する。

照明が、再び非常灯に変わる。
アラームが聞こえなくなる。

Ａ　今、掴んでおられることを報告してはどうでしょう。ネットワークのダメージは、しばらくは通信できない状態が続くはず。

照明が復旧する。

Ａ　帰ります。それとも、どうしましょう。私を犯人にする。十分な理由はあるはず。

「犯人」の一言は、この部屋でどの様に作用するだろうか。
Ａは言葉をつないでいく。

Ａ　破綻は広がっていく。ただのサーバの間の通信の不具合から、本当の標準の時間を失ったネットワークが、互いのズレを理由に遮断しはじめたら、きっとあっという間にあらゆる通信までダウンしはじめる。
３　ネットワークの、
Ａ　おそらく、金融、電力、あらゆるインフラ。
３　なにもかも。
Ａ　この状況を信じるなら。
２　なにもわからない。
１　確実な証拠もない。
Ａ　それでもいいなら、どうぞ。私が犯人になったところで、なにも変わらない。

間。

Ａ　これを見ておくしかないなら。私は、特等席で。

Ａが特等席から見る光景は、どの様なものだろうか。

おわり